

観光創造専攻

平成22年度
前期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～3 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語(横書き)で解答しなさい。

なお、適切な位置で改行して段落に分けること、また字数は改行による空白も含めて計数する。

【問題 1】

グローバル化に伴って「ボーダーレスな」社会になりつつある中で、世界の観光客数は 10 億人に近づいており、また同時に観光の多様化も進んでいる。グローバル化下の観光によって、観光地で起きる地域社会・経済・環境などへの影響に関して具体的な地域事例を 1 つあげて、観光のメリットとデメリットを比較しながら説明しなさい。

【問題 2】

着地型観光など地域発の観光を推進する観光地にとって「ブランディング」は重要な課題である。しかし、多様な主体が関わる観光地のブランディングを推進することはそう簡単ではない。そこで、観光地のブランディングを進める必要性を解説したうえで、事例を 1 つあげて、現在の観光地のブランディングの課題を説明しなさい。

【問題 3】

1998 年に特定非営利活動推進法(通称 NPO 法)が成立してから、日本社会の中で NPO 活動が大きな役割を担うようになってきている。観光地域づくりでも、従来の観光産業などの営利活動とともに、NPO 活動などの非営利活動への期待が大きい。そこで、地域主体の観光で非営利活動が果たす役割を、先行研究や事例を基に論じ、観光地域づくりにおける非営利活動の重要性を解説しなさい。

以上